

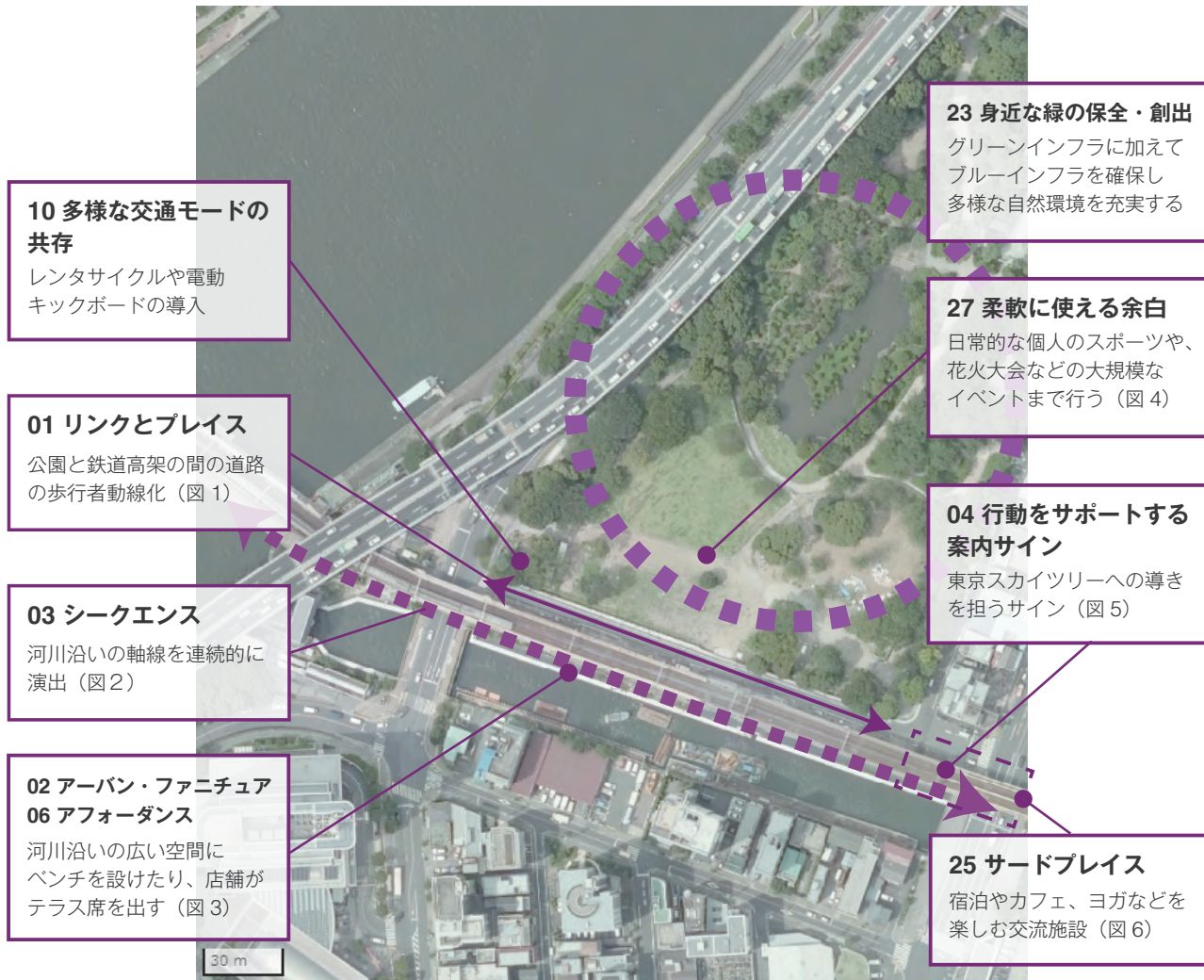
隅田公園・隅田川河岸施設

(東京ミズマチ・すみだリバーウォーク)

東京都墨田区

開発面積	80,497㎡ (隅田公園) / 5,500㎡ (東京ミズマチ)
用途地域	第一種住居地域

特に注釈がない限り、写真は筆者撮影。



隅田公園・東京ミズマチ周辺地図 (地理院地図より)

隅田公園は東京都墨田区に所在している公園で、毎年夏には隅田川花火大会の開催場所にもなっている。

北十間川と隅田川の合流地点で水路に挟まれた環境を持っているが、公園の南側を東西に走る東武鉄道の高架が従前は北十間川との隔たりを生み出しており、また隅田川側とも幹線道路にて断絶が見られた。加えて隅田川を挟んで対岸の浅草とはここから500m程度の橋まで歩く必要がありここにも空間的断絶があった。

2020年になって隅田公園と連携する形で北十間川の川沿いで景観改善が始まり親水テラスとして整備された。これにあわせて東武鉄道の高架下空間を新たに商業施設として開発を行い、東京ミズマチとして同年に開業された。加えてこのエリアの特徴である、すみだリバーウォークが開発されることによって

隅田川の歩行者アクセスが確保され、東側の東京スカイツリータウン方面から浅草エリアまでつながる東西軸の歩行者動線が河川沿いで確立された。

すみだリバーウォークは既存の鉄道高架路線に新たに付加する形で設けられた歩行者専用道路であり、単に東西軸の動線を強化するだけではなく、鉄道が歩いているすぐ上を走っていくという他では見られない特殊な体験をつくりだすことで歩く楽しさという側面にも魅力がみられる。

隅田公園のエリア内においても広場空間や児童遊園からランニングやウォーキングに適したパス、景勝の桜並木や神社、釣り堀まで都心では珍しい実に多様な楽しみ方が混在したものになっており、東京ミズマチの多様な店舗と合わせて様々な層のアクティビティを促進する舞台となっている。



図1 歩行者専用道の整備による安全な河川との繋がりを強化



図4 様々なアクティビティを各々が行うだけの十分なオープンスペース

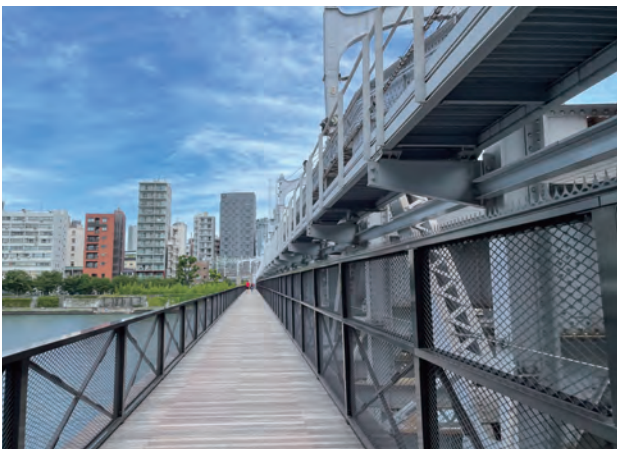


図2 隅田川の鉄道高架に付加された「すみだリバーウォーク」



図5 東京スカイツリーをはじめ近隣施設との繋がりを強化する案内サイン



図3 北十間川沿いにゆとりのある空間と滞留のきっかけが設けられる



図6 コミュニティ型ホテルをはじめカフェやジムなどが充実する東京ミズマチ